

NPO 法人やまぼうし自然学校

ニューズレター 2009年春号



輪切りのコトバにこたえる 大人のネームプレート

代表理事よりご挨拶**



加々美貴代 (がみちゃん)

やまぼうし自然学校も来年で10周年を迎えます。この10年間で様々な人のわが紡がれてきた事を最近殊に感じます。一度は解けてしまったわも、様々な活動を通じて更に強く結ばれる事もあります。森を通じて理解し、信頼し合えるそんな関係を皆さんとこれからも築いていきたいと思っています。これからの季節、やまぼうし自然学校にとって一番の繁忙期を迎えます。しっかり結ばれたわを大切にしながら、森の素晴らしさを子ども達へ伝えるべく楽しく活動していきます。

発行：特定非営利活動法人やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795
Email：info@yamaboushi.org URL：http://yamaboushi.org

スタッフよりひとこと



瑞慶覧明子 (すけちゃん)

一列終えて、「株間が荒い！」3列終えて、「畝(うね)間が違っちゃうよ。」6月早朝、いろいろ言われて進む田植え。飛び交う言葉は私への、そして実りを待つマリ共和国の人たちへの愛情の裏返し。そう信じて苗一本一本に願いを込めました。「無事届きますように」。アフリカ支援米スタート。



佐藤明希 (あっさい)

「いたずらを、する前に怒ってはいけませんよ」。この間、知人に教えてもらいました。成功した時のことをイメージして、行動に移す……。これって将来の夢をかなえるのと同じ方法なんですよ。だから「いたずら」は、夢をかなえるトレーニング。この夏も、たくさんのいたずらこと森で遊びたいです。



武重芽里 (めりちゃん) 研修生

やまぼうしでの研修開始から早や2か月。動植物の生態から備品の置き場所まで、毎日必ず新しい発見があります。子供たちに色々教える前にまず自分の間違いを指摘されることが多く…。繁忙期に向けて自分で自分の手網取りをしっかりせねば！と夏に向け心を新たに意気込んでいます。



保母裕美 (ほぼちゃん)

子どもの成長は「3」に関係した期間が節目になっているような気がします。生まれて3日すれば体重が増えだし、3週間で要求によって泣き声を使い分けして微笑みが現れることもあります。3ヶ月するとお話するように声が出てきて首も座りどンドン体を動かして日々できることが増え、3才になるころには何でも自分でやりたい気持ちが現れて急にお利口になり、頼もしさを感じます。後戻りを繰り返しながらいつの間にか大きくなるわけですね。



石川順子 (じゅんちゃん)

知人の勧めでカイロプラクティック施術を始め4か月。当初は毎日(!)、その後は週3、そして現在は週2ペース。出産時に遡る長年の腰痛は骨盤および頸椎の歪みから来るそうで、ちょっとやそっとで戻るはずもなく通院はまだまだ続く……。しかしながら下見や本番の山歩き、終日立ち通しのイベント後の疲れは格段に軽くなったことを実感。「骨格」は大事かも。



仲川好乃 (よっちゃん)

畑の中で、えさでも探しているのか親子のカラスを見つけました。ひなのカラスは、えさを欲しがっているのか真っ赤な大きな口を開け親鳥に催促をしている様子、しばらく見ていた私に気がつき親鳥が、威嚇?警戒?なのか大きな声で鳴きながら親子は去ってしまいました。カラス=害鳥というイメージですがとても心が和む光景でした。



長谷川功 (はせじい)

今年からのやまぼうし新規菜園事業。ミニトマト10本、キュウリ10本、ダイコンを体験の森菜園へ。ズッキーニ、ナス、ピーマン、シシトウ、パセリ、里芋、枝豆、つるなしインゲン、モロヘイヤ、オクラ、カボチャ等を真田の西沢農園へ。そして昨晩秋植付した玉ネギは6月の遊び隊の食卓に上りました。今夏も忙しくなりそうです。

笑顔の伝染

この1週間に会った大人の笑顔。

「中学生と間伐できる森を探していたら・・・」

ここぜーんぶ家の山だから！この山放っておいてもしょうがないもん。好きなように使っていていいよ。～地図を広げ、菅平のホテルのお母さん～

「青竹クーヘンできそうな炊飯場を見に行ったら・・・」

菅平なんてなーんもないけどさ、お客さん来てくれたら思いっきりサービスするのよ。全国いろーんな所見てさ、うちに来てくれたら嬉しいじゃない。そうそう、キャベツ持ってって！レタスあっても困らないでしょ？チンゲンサイも入れておいたわ。～重い袋抱えて、菅平の畑のお母さん～

「森遊びの森を下見中・・・」

お話していたら、何だか光が見えてきました。この森、離れがたいですね・・・～荒れた生徒に悩む中学校の教諭～

夏の林間シーズンに向け、学校の先生との打合せが目白押し。ミズナラを見上げ、「あいつらに登らせたいなあ。」「いつまでもしがみつくとつがいたっていい。」おもむろにイタドリにしゃぶりつき、鳥獣の話に花が咲く。聞けば、南紀の出身。生徒を自由に遊ばせたいと、森を見て回る。

“森が一番の先生”。自然の魅力を知る人は、こう言う。それはそうと、森に連れ出す大人の存在がなければ、魅力は子どもたちへ伝わらない。先生の要望に応えたい思いは、生徒と森をつなげたいという接点を見つけた時、最高のアドレナリンを発する。

「炭焼き体験のお弁当タイム」

炎天下、テントの陰を見つけて。「ここでお弁当食べてもいいですか？」「いいよ。」と答えると、「よかった。最近の大人はダメって言うことが多いから・・・」～中学生の男の子～

言われたことだけをやるつまらなさにも、森は気づかせてくれる。いたずら決行、うまくいってシテヤッパリ！は、次のチャレンジにつながる。

学校、地域、家庭、自然学校のような団体・・・。子どもが居るところが教育の場。その一員になりたいと、森にいて思う。大人の笑顔は子どもに伝染する。その力を信じてこれからも、子どもたちを森に連れ出す仕掛けをつくり続ける。

文：瑞慶覧明子

イベントレポート 東京支部

【世田谷観察会 09.04.02】

満願寺では江戸時代に住職が乗った籠に関心を持ってもらった。安置された「一言地蔵（ひとことじぞう）」に熱心に御願いする人も。玉川神社の名木、大クスでは幹の大きさに皆感心する。解散は九品仏浄真寺。ここも桜が満開。解散後にオプションで希望者を案内する。特に丹野さんの仏像説明は好評であった。



文。 湯浅泰博



等々力渓谷近くの住宅街にあるランチ会場 VECTOR (ベクトル)。



新登場のポイントカード お得な割引サービスゲット！



ランチは「世田谷シリーズ」参加者の大きな楽しみになっているので重要であるのだが、今回はお店を探すのに苦労する。渓谷近くのごちんまりしたカフェと交渉し、一定時間を貸切りとしてもらった。イベント特別仕様のメニュー対応などお店も好意的で、参加者には概ね好評であった。

コースマップ



イベントレポート 東京支部

【黒川親子食育イベント 樹木博士認定&ツリーパンづくり】

5月24日、神奈川県黒川野外活動センターで、樹木博士を実施しました。
本番はあいにくの雨天でしたが、子供たちとその親たちと一緒にカッパをきて森の中へ行き、10種の樹木の名前とその特徴を覚えました。



文、羽根敏子

小学低～中学年生対象の自然観察といえば動く昆虫たちが主役ですが、今回は動かない樹木です。どれくらい子どもたちをひきつけるか心配でした。しかし実際は、とても集中して楽しく樹木観察をして、試験の時は、真剣に取り組んでいました。全問正解の子どもたち（大人たちも）はとても楽しそうでした。

昼休みは、ツリーパンを作って食べたり、チキンバーベキューを味わったりと、お腹も満足の1日になりました。



枝に巻きつけたパン生地を炭火でじっくり焼き上げる。アルミホイルがポイント！

樹木博士までの道のり



葉っぱの特徴を五感にたくわえる



木の名前の記憶テスト



今日から樹木博士！



笑顔で賞状ゲット

森でモリモリ遊び隊

上田市内各地から集まった36人が、ドキドキの一泊キャンプに挑戦。
草花はアクセサリや楽器に、竹は弓矢や火の神様の道具に。土の中から砂金(!?)を取り出す工場の横を、弓を装着したお侍様が闊歩。コンポストやピザ釜をつくる時には、同じ釜の飯を食べたみんなの知恵が終結。
火も道具も自在に操る、遊び隊の「遊びの発明家」っぷり、あっぱれでした！



今夜の寝床

遊び隊サイン入りピザ釜

計量カップのシンバルが目覚まし！

フォレストキッズ

4月25日 説明会&春色探し

30名の子どもたちと1年間楽しめます。
雨の中の第1回開催でしたが、子どもたちは持ってきたカッパを嬉しそうに着て、雨の中に飛び出しました。
寒さには勝てず、午後はプレート作りです。



将来の担い手たち

長野大学（上田市）の学生が、菅平高原にやってきた。残雪の森を長靴はいて観察トレイル。やまぼうし自然学校と出会い、地元の自然を歩き、仲間と触れ合う。将来の環境教育の担い手たちの目に、菅平の森はどう映ったのか・・・(09.04.18 121名の学生と教職員)



バスで到着後、グループに分かれやまぼうしのインタープリターとネイチャートレイル。シラカバとミズナラの森、火山性の地層などを観察した。

環境ツーリズム学部、社会福祉学部は、カリキュラムの中に環境教育を取り入れている。

東京の中学1年生60名が、炭焼き体験&窯ピザづくりに挑戦。「サッカー一部で僕たち体力はあるんです」、と炭を掻き出す道具「掻き出し棒」を放さない生徒が2名。(09.06.04)



ひとりひとつ炭かごをつくり、掻き出した炭を持って帰った。

～やまぼうしからのメッセージ～

間伐した材を用いる炭焼きは、森を元気にする。持ち帰った炭を生活で使う（家の玄関に飾るなど）ことが、間伐材の利用となり、森を元気にする仕事の一役を担うことになる。

炭を見るたびに、菅平での体験や環境のことを思い起こして欲しい。

やまぼうしインタープリター募集

やまぼうし自然学校は、インタープリター登録制度を設けています。現在約50名のインタープリターが、林間学校やキャンプ、東京のイベントなどで活躍しています（有償制）。子どもたちの環境教育を手がける仲間をもっともっと増やしたい。継続的に、一緒に活動する仲間を募集しています。



森づくり体験の打合せ風景



間伐作業の意義と安全の話



青竹クーヘンの作り方説明



ネイチャートレイルで森の話

…焚き火料理、森の間伐、自然観察、土壌調査、水生生物調査、ネイチャークラフトなど

すでにお持ちの技術や経験を、子ども達の体験学習やキャンプに活かしませんか？平日のみ、夏のみなど期間限定でも大歓迎。環境教育の場に、曜日や季節は関係ありません。研修を通し、プログラムの進め方や安全管理の方法など学んでいただいた上で、グループ担当となる仕組みをとっています。

興味を持たれたら、まずはお問合せください。事務所へもお気軽にお越しください。

やまぼうし自然学校

info@yamaboushi.org

0268-74-2735 (TEL) 0268-74-2795 (FAX)

森林インストラクター養成講座

11月まで毎回参加者募集中！

7月4日(土)

野外活動(理論)～野外活動概論～/安全と教育(理論)～企画のポイント

7月5日(日)

野外活動(実技)～キャンプ・焚き火料理・クラフト～

場所：菅平高原(長野)／黒川青少年活動センター(東京)

時間：9時～16時/日

参加費：3,000円/税込み・日



まき割り実習



火おこし実習

長野講座は、

- ・ 電車でお越しの方は、上田駅から菅平高原まで送迎します。
- ・ 土曜日の夜の宿泊は、菅平高原のペンションをご紹介します(有料)
- ・ 毎回約10名の参加者がいます。

+++++会員と読者の交流ステージ+++++



明治42年創業の100周年。紙の販売から紙製品全般を取扱い、現在ではコクヨの代理店も行っており、丁寧に対応させていただいております。昨年は再生紙に関する偽装表示が大きな社会問題にもなりましたが、新たな取り組みとして森林認証制度(FSC 認証のCOC 認証)を取得し、使用していくことが環境保全に役立っていることを理解しつつ、積極的に取り組んでいます。紙に関する内容につきましては何でもお問合せください。やまぼうしの体験パンフレットも丸二の紙を使用しています。

萩野裕司(副部長/営業部 紙営業士) (株)丸二 上田本店・長野店・前橋店・松本店
連絡先 TEL 0268-24-8111 Email net@maruni-paper.co.jp

やまぼうしインプリ発信

ももさまの安曇野さんぽ：百瀬昭雄



プロフィール

自然豊かな安曇野に生まれ育つ。たくさんの小鳥やペット・山野草とともに暮らし、趣味は蕎麦打ち・登山・溪流釣り・クラフト・盆栽など数知れず。自然の知識は「広く深く」を目標に勉強し、自然の案内では何より参加者に楽しんでいただくことを心がけている。本業は会社員、アウトドアの同好会「安曇野自然観察会」を主催している。02年よりやまぼうし自然学校インタープリター・上高地白樺自然学校ネイチャーガイド

はじめに

安曇野とは、長野県の中信地区である松本盆地の西側にひろがる地域一帯をさす名称なのですが、どこからどこまでが安曇野なのかというのは諸説があるようです。松本方面からJR大糸線に乗り、梓川をわたりきったところにある梓橋駅のホームには「是より北安曇野」と書いてありますので、おおまかに言って梓川が安曇野と筑摩野の境のようです。ここから安曇野市を中心とし、池田町、松川村、大町市の南部くらいまでが一般的には「安曇野」といえます。

安曇野(あづみの)の語源は古代北九州方面から来た海人族安曇氏に由来し、海とはまったく関係のない地域でありながら穂高神社に祭られている神様は海的神様、祭りも海戦を模したものになっています。

地形的にはすぐ西側に北アルプスの山々が連なり、そこを源流とする梓川や黒沢川、烏川、中房川その他大小さまざまな河川による複合扇状地になっております。このような地形のため黒沢川や烏川などのかなりの水が地下に浸透してしまい、特に黒沢川などは途中から川がなくなってしまういわゆる「尻なし川」になっていて、この大量の地下水が湧き出るところが「安曇野わさび田湧水群」とよばれ、全国一位の生産量を誇るワサビ栽培やニジマス・信州サーモンなどの養殖におおいに役立っております。

また、人気の安曇野ちひろ美術館、碌山美術館、ジャンセン美術館、とんぼ玉美術博物館、田淵行男記念館、豊科近代美術館、アートヒルズ・・・等々かぞえればきりがなほどの美術館や道端には素朴な道祖神が点在し、見どころは満載の場所でもあります。さて前置きはこのくらいにして、さっそく私と安曇野の散歩を楽しみましょう。



常念岳 (2,857m)

言わずと知れた常念山脈の主峰です。百名山のひとつであり、形の良い三角形の山は探すまでもなく目に飛び込んできます。松本や周辺のいわゆる東山からはすぐ左肩に槍ヶ岳の先端が見られ、しっかりした測量がされなかった時代には「常念と槍はどちらが高いか」との議論もあったようです。

名前の由来は春から初夏にかけて浮かび上がるお坊さんの雪形に由来するのですが、この「常念坊」というのは坂上田村麻呂（さかのうえのたむらまろ）の北征のときに滅ぼされた八面大王の家来であったとか、大酒飲みの怪僧だったとか、いずれにしろ妖怪に近いもののような伝承が残っています。

私も大好きな山のひとつで十数回は登っておりますが、私が尊敬するナチュラルリストで高山蝶研究家の田淵行男先生（1905-1989）はこの山に合計206回も登っております。田淵さんの細密画や功績は安曇野市豊科の田淵行男記念館で確認できますし、上高地のビジターセンターにはオオイチモンジやタカネヒカゲなどの大きな細密画が展示されています。



オキナグサ (翁草)

キンボウゲ科私が幼少の頃、黒沢川の土手などかなりの場所にあったように記憶しており、安曇野ではどこにでも見られる普通の野草であったはずですが、現在ではほとんど絶滅状態で、めったに野外で見ることなくなってしまいました。キンボウゲ科の仲間に多い毒草のひとつとされており、当時は農家が行う草地の手入れによる良好な生育条件や、多くの家庭で飼育されていたヤギや牛などが食べないことで生存を維持されてきたようですが、その後ヤギや牛の飼育もなくなり、農地の構造改善や荒廃などによって急速に少なくなったところに山野草栽培目的としての乱獲で激減したのではないかと考えます。



安曇野の年配者には「ちごちごの花」という名前のほうが通りがよいようです。毒草とされておりますが、私の父親によると昔は草餅にしてけっこう食べたとのこと。ずっと父親の記憶違いではないかと思っていたのですが、長野県山岳総合センターで研修を受けているときに講師の先生から同様に草餅で食べた話を聞くことができました。しかし、皆さんは絶対まねをしないように。

今から10年位前、私は安曇野の某所で自生の株を発見することができました。今はその花から採取した種で株を増やし、近くの農産物直売所で販売したり、野外の土手に植えたりしているのですが、残念なことに野外に植えたもののほとんどは盗掘？されてしまっております。

フクロウ フクロウ目フクロウ科

みなさんはフクロウの声を生で聞いたことはありますか？ 安曇野ではかなり自然が残っているといってもなかなかフクロウの声を聞くことは出来ません。さいわいなことに私の自宅は周りがりんご園と荒畑にかこまれていて、しかも近くの工場の一角には大きなアカマツの大木が何本もまとまって生えている所があるためか、ごくまれに声が聞こえることがあります。聞きなしては「五郎助奉公」（ゴロスケホウコウ）が一般的です。私の耳には「高校 がらくた高校」と聞こえてきました。いずれにしろこれがフクロウの囀りなのでしょうが、キジバト同様小鳥の囀りとはちょっと趣が違います。

先日、私が主催する「安曇野自然観察会」というあやしい同好会で大町山岳博物館を見学したところ、奥の動物園で飼育しているフクロウが突然檻のすみから下の砂場に舞い降りて来て砂浴びをはじめました。じっと観察していると、大きな目でこちらをにらみ「ホホホホホホホ・・・ホホホホ」と鳴き始めましたが、この声はたぶんオヤジに入浴中を覗かれたために発した警戒音か悲鳴だったのでしょう。

フクロウは私が特別な思い込みのある鳥のひとつなのですが、これは私の幼少時の体験によるところが大きいと思われまます。あるとき炭焼きについていった愛犬のコウタが瀕死のフクロウをひろってきました。さっそく従弟と一緒に写真におさめてもらいましたが、成長したのちに見た「墜落したUFOに乗っていた宇宙人の手を人間が両側から持ち、半分ぶらさげているような感じに支えている写真のアンクル」がまさにこの状態でした。

・・・痛ましや・・・フクロウと宇宙人に合掌。



昭和？年 あきお少年は左側

いちおし体験学習



炭焼き体験

はせじいが3泊4日かけて焼いた炭を「掻き出し棒」という道具で掻き出す作業から体験はスタートします。すべての炭を掻き出した後は、自らトッピングしたピザを釜の中で焼き上げ、その場でアツアツをいただきます。「環境」を学び「食」を楽しむ。2度“美味しい”体験です。

① 熱さを我慢し、重たい掻き出し棒を操り炭を掻き出す

② チーズとろけるピザは手作りの味！

③ 冷めた炭は新聞紙に包んでお持ち帰り



～やまぼうしからのメッセージ～

「掻き出し」というクライマックスを体験し、森を元気にする仕事の一端を担う炭焼き体験。“炭”という形で手にする間伐材は、お土産として持帰り、家に飾り消臭剤などとして使うことで「森の利用」を実感できます。ひとりひとりと森をつなぐ体験として、楽しみながらの学習をサポートします！

+++++会員と読者の交流ステージ+++++

<http://photoday.org/>

～自然の息吹を感じる ネイチャーフォト 風景写真～

5月3日より 写真家 辻中隆志のサイトを開設いたしました。日々撮影し、気に入った画像をupしていきますのでぜひご覧ください。楽しんで更新して行きたいと思っております。よろしくお願いたします 辻中隆志@安曇野



イラスト by zukechan

やってみて! 野外レシピ

○●こんにやくづくり○● (半藤邸にて松田師匠のてほどきより)



1



2



3



4



オプション

1. 顔ほどのおおきさのこんにやくを畑から収穫。
2. ちびっこと一緒に皮をむく。
3. 釜戸でせっせと煮る、夫婦二人三脚で。
※すばやく激しく満遍なくかき混ぜ続けるのがポイント。
※オプションでのりを加えるとさわやかな緑色に
4. 固まったら湯がき、その後冷水で冷やし、切り分けていただく。

○●あま味じゃが蒸しまんじゅう○● (上田地域広域連合イベントにて)



1. 蒸した新じゃがをつぶし砂糖・塩・醤油で甘く味付けする
2. 生地材料がはいった袋に牛乳をいれてこねる
3. ひとりひとつ生地のなかにじゃが餡をいれてつつむ
4. 大きな釜に湯を沸かし、豪快に蒸す
5. 蒸しあがったらフタをあけると、大歓声
6. 大きなものを早い者勝ち!

イベント情報

♪ のんびり 長ぐつ 探検隊 ♪

親子でゆったりと、長ぐつ履いて森探検

日時 6月21日(日) 10:00～昼食後解散
 対象 おおむね3歳～6歳の一人歩きができる幼児と保護者
 集合場所 上田市菅平高原 桑田の森
 参加費 大人¥1000 幼児 100円
 定員 先着 20組
 申込締切 6月18日(木)

長野校

♪サマーキャンプ in 信州・菅平高原♪

・・・はじめてキャンプ・キャンプの達人の2コース・・・

日時 7月21日～8月26日までの3泊4日
 集合場所 新宿駅西口 工学院大学前(貸し切りバス) or 現地集合解散
 参加費 48,000円(交通費、宿泊食費、体験代など)
 対象 小学校1年生～6年生
 内容 テント泊1泊、キャンプ料理、森遊び、沢遊びなど
 定員 各コース40人
 申込締切 7月3日(金)、7月27日(月)

東京校

♪高尾自然観察会♪

・・・賑わいを避けたとっておきコースをご案内・・・

日時 7月11日(土) 9:00～15:00 ※雨天7月18日(土)に延期
 集合場所 JR 高尾駅北口
 料金 一般¥3,000(資料代・ドリンクサービス含む)
 定員 先着 20名
 申込締切 7月8日(木)

東京校

♪やまぼうし原人キャンプ♪

むかしむかし、菅平高原には、森のめぐみに感謝しながらひっそり暮らす菅平原人がいたという。そんなご先祖の森で五感を研ぎ澄まし、大地を踏みしめる4日間。森探検、沢のぼり、豪快原人焚き火料理、原人風呂などなど。
 最後の夜には「原人祭り」を復活させよう!

日程 8月12日(水)～15日(土)
 宿泊 全泊テント泊
 場所 菅平高原
 募集 30名(最少催行人数10名)
 対象 小学1年生～6年生
 参加費 参加費 37,000円(往復交通、食事、宿泊、指導、資料、保険込)
 申込締切 7月31日(金)

長野校

3,4,5月の実施事業

■ 事務局
 理事会 (5月2日)

■ 森林インストラクター養成講座
 ガイダンス (3月1日 長野 3月8日 東京)
 理論森林・ロープワーク (3月21日 長野 3月28日 東京)
 理論林業・理論話法 (3月22日 長野 3月29日 東京)
 理論林業・実技林業 (4月11・12日 長野 4月18・19日 東京)
 野鳥観察・森の民俗学・土壌・日本の森林 (5月23・24日 合同)

■ 体験学習

我孫子二階堂高校 (4月23日) 麹町学園中学校 (5月10日)
 志村第1中 (5月15日) 池上小学校 (5月17日)
 谷戸小学校 (5月20日) 柏中学校 (5月27・29日)
 鴻巣中学校 (5月27～29日)
 豊明小学校・竹台高校 (5月29日)
 南部中学校 (5月31日)

森でもりもり遊び隊/フォレストキッズ
 イグルー作り (3月8日 遊び隊)
 森遊び (3月14日 フォレストキッズ)
 新年度説明会 (4月24日 遊び隊)
 説明会&春色探し (4月25日 フォレストキッズ)
 森遊び (5月10日 遊び隊)
 森の整備&植樹 (5月25日 フォレストキッズ)

イベント

味噌作り (3月15日 長野)
 ジビエ (3月29日 長野)
 世田谷自然観察会 (4月2・4日 東京)
 やまぼうしウィンターキャンプ (3月30日～4月2日)
 山菜パーティー (5月3日 長野)
 つくば自然観察会 (5月16日 東京)
 黒川野外活動センター共催イベント (5月24日 東京)

委託

スノーシューガイド (3月15日 長野)
 黒川ネイチャーボランティア (4月5日、5月31日 東京)
 西東京市実地踏査 (4月16日 長野)
 上田地域広域連合イベント (5月30日 長野)
 サマーキャンプキャラバン (5月19日 合同)
 わんぱく大学お手伝い (5月13～15日、20日～22日 長野)